

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立多摩第一小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒206-0011
東京都多摩市関戸3-2-23
 E-mail : kinosita-kazunori@city.tama.tokyo.jp
 Website : http://www.tama.ed.jp/tamadai1/
 児童生徒数：男子 385 名 女子 370 名 合計 755 名
 児童・生徒の年齢 6歳～11歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

学年ごとに異なる取組を指導する。学校全体の指導計画によって、発達の段階に応じた指導によって連続する学びになるよう計画することが大切である。また、年度末に全校発表会を実施することで、発信方法を工夫させ表現力を高めさせるとともに、次年度へ子供に見通しをもたせた。

第1学年 あそんでふれて、しぜんはっけん

生活科で自然体験遊びやネイチャーゲームによって、自然と関わらせ、豊富な自然体験によって、身近な自然環境への関心をもたせた。草笛、ササ舟といった昔遊びに加えて、ビンゴゲーム形式の自然発見ゲームや虫めがねを使って草むらの根元を探検するなど、多様な体験をさせた。また、河原の自然物を使った遊びを考えて発表し、全員で遊ぶこともした。サツマイモの栽培を通して、土づくりを行い、植物の生育を見守る体験も行った。



第2学年 わくわく自然体験

生活科の時間にネイチャーゲームによる豊かな自然体験とともに、多摩川探検を通して身近な地域学習への関心を高める。浅瀬のガサガサ体験でハヤやカワエビなどの小動物を採集したり、野草の押花を楽しんだりする。川の水に浮んで流れる体験もする



2年生子供の感想：川の水は冷たかったけれど、こんなにたくさん生き物がいると思わなかった。川エビ、ドジョウやカメもいた。はじめて川に入って楽しかった。

第3学年 地域の達人になろう

総合的な学習の時間に、地域の自然、商店、公共施設、農業の見学や調査を行い、地図上にまとめて発表を行う。農家や商店を訪ねてインタビューによる調査方法を体験したり、デジカメを使った記録方法や、ポスターセッションによる発表を行うことで、調査方法や発表方法の基礎を学ぶ。また、和太鼓を打つ体験や、地域に伝わるお囃子を実際に踊る体験を通して地域理解を深め、「地域の達人」をめざす。



第4学年 めざせ多摩川博士

総合的な学習の時間に、多摩川をテーマに調査を行った。

まず、多摩川の調べ方を外部講師に教えてもらうために、多摩川と河原の植物、魚、石、野鳥、ゴミ、水質のテーマごとに話を聞き、水質調査などの体験活動を行った



次に、テーマごとのグループをつくり、調査結果の予想、調査方法を話し合い、計画書にまとめた上で、実地調査を行い、結果をまとめた。さらに、学年内で発表会の後に、インターネットのテレビ会議を活用して、上・中・下流の学校で、学んだことや多摩川の様子などを交流で発表し合った。最後に活動をふり返り、活動の良かった所や改善点を出し合った。

子供の感想：身近な川の様子がよくわかった。生き物が多かったけれど、意外とゴミが多かった。調べたことを、発表方法を工夫して発信するのが楽しかった。

第5学年 みつめよう私たちの生活と環境

総合的な学習の時間に、地域の農家の方に指導していただき校内の田んぼでの稲作体験をする。田植えから除草、稲刈り、脱穀などを手作業で行い、米を作る楽しさとともに作業の体験する。収穫した米は、6カ国の留学生から世界の米料理を教えてもらい、食を通して国際理解を図り、6年生の学習につなげる。また、米や稲作をキーワードに他校に発信した。発信の工夫は4年生の経験を生かし、子供が発信内容を工夫する。特に、ユネスコスクールの連絡網を活用して東南アジアの小学校と交流する計画である。



第6学年 エネルギーを通して世界を知ろう

理科の電気や発電の学習をきっかけに、総合的な学習の時間に、エネルギーについて学ぶ。様々な発電方法を調べて発表し、実際に生活や社会を支えている発電について関心をもつ。次に、風力発電機を自作することで、発電の大変さや大規模な施設が必要なことを理解し、生活の中で節電することの大切さを知る。さらに、自然エネルギーを身近に感じさせ、日本や世界のエネルギー問題の未来を考えた。



子供の感想：風力発電用にペットボトルの羽根の形を工夫した。これからもエネルギー問題に関心をもちたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料(新聞、出版物など) CD-ROM 写真
- その他()